

ARAI NEWS



最近ではモトクロスといえば、即スーパークロスって感じで、バイク雑誌のスポーツページもアメリカ色が濃くなっているようだ。だからといって別にヨーロッパのモトクロス界がすたれてしまったわけではないのです。500cc、250cc、125ccの世界GPはしっかり開催されていますし、人気もあります。ただニュースの日本上陸とオンエアが少々にぶっているだけのこと。そこで、今回のArai Newsでは、世界GPで活躍中のモトクロスライダー“デイブ・ストリボス”にスポットをあててみたい。

ストリボスがモトクロスを始めたのは8歳のときのことで、兄さん2人がモトクロスをすでにしていたこともあってストリボスはメキメキと上達し、10歳でレース初出場。12歳のときには、オランダ国内50ccチャンピオンを獲得。スター街道を真っしぐらに進み、'82年には125ccクラスへステップアップした。セニアライダーとなって2年めの'83年、オランダ国内125ccシリーズ3位にランキングされ、翌年'84年に国際ライセンスを取得。なんとわずか16歳でだ。まあ、競技規則の違いと

なんと16歳で
モトクロス世界GP優勝！
デイブ・ストリボス



かあるけど、日本で16歳といえば、バイクの免許とるのがやっつ。中型免許とりたてに教習所へみんなが通っているときに、ストリボスは世界GPを転戦しはじめちゃったわけだ。すごいですねー。ウラヤマシいですねー。

16歳といえば、まだ高校生。もちろんストリボスも高校に行ってます。でもモトクロスのトレーニングは毎日欠かさないんだ。彼の1日のトレーニングメニューを公開しよう。

- ランニング(12km) — 1時間
- ボディビル — 30分間
- 持久力強化 — //
- バイクトレーニング — 2時間
- バイクテスト — 1時間

これがシーズンオフ中毎日繰り返される。PL学園も真つ青の猛練習だと思わないか？ウマくなるわけだ。

さて、16歳で世界GPへとデビューしたストリボスは、地元オランダGPで初の優勝を飾った。これ、おそらく史上最年少記録じゃないかな？ギネスブックが手元にある人は調べてみてくれよ。

'84シーズンを世界モトクロスクラス125ccクラスシリーズ6位にランキングされたストリボスは、今年さらにパワーアップして世界GPにチャレンジ。シーズン終了間ぎわまで、ポイントをリードしたものの、とあるバイクメーカーのイヤガラセに近い抗議でポイントを失いランキング2位どまりとなってしまった。ちなみにストリボスのマシンは、HONDA CR125Rだが、まあ、どんな世界でも、でるクイは打たれるというか、ネタむ人がいて足をひっぱるとかあるものだけけどね。しかし、実力的には十分チャンピオンだったことは事実。'85年こそはチャンプをと燃えているとのこと。

テレビを見ることと、トランプやビンポン、そしてモトクロスが彼の趣味だ。一見するとごく普通のセブンスターだが、幼少からバイクを愛し、モトクロスに打ち込むストリボス。そんな彼をAraiは応援しています。



(株)新井広武
〒330 埼玉県大宮市東町2-12
☎0486(41)3825-7